

調印式における JAXA 堀川康理事のスピーチ

地球規模の環境問題に地上と宇宙の両方から取り組む、JAXA と世銀の新しいパートナーシップ

お集りの皆様、（お忙しいところ、本日はありがとうございます）

宇宙航空研究開発機構を代表として、JAXA と世界銀行との覚書の調印の場でスピーチをさせていただき、栄誉ある機会に恵まれましたこと、皆様に心より感謝を述べさせていただきます。

世界銀行はこれまでも日本にとって卓越したパートナーでした。前世紀には私たちのパートナーシップは地上での開発分野におけるものでした。20 世紀での、新幹線や東名高速などの重要なインフラ整備プロジェクトへの融資を通じて、日本社会の開発に対する世界銀行からの貢献度は甚大です。

今世紀に入り、私たちのパートナーシップは新しい局面を迎えつつあります。21 世紀のキーワードは環境と宇宙です。世銀と JAXA は、最も深刻な地球規模の問題である、環境問題に取り組むという共通の課題を推進しています。特に今年の G8 サミットは日本で開催され、環境問題は中心題目の一つになるでしょう。世銀は地上においてこの課題に取り組んできていますが、JAXA は宇宙から同じように取り組んできました。

先ほども申しましたように、世銀は地上での日本の発展にただなる貢献をしてくれました。今度は、私たちがお返しする番です。この新しいパートナーシップのもと、世銀と JAXA は、日本リモート・センシング技術センター（RESTEC）の支援を得て、世界的に最も深刻な地球規模の問題である環境問題を地上と宇宙の両方から、力を合わせて取り組む所存です。

こうした意味で、世銀が「だいち」からのデータの有益性を評価していただくことを、私たちは大変嬉しく思っております。また、世銀と JAXA との協力体制の設立に際しては、「だいち」からのデータの主要な配給機関であるリモート・センシング技術センターのご尽力にお礼を申し上げます。

皆様もご存知のように、陸域観測技術衛星「だいち」は2006年1月24日に打ち上げられました。以来、「だいち」のデータは、災害監視、地図作成、地域観測、資源探査に利用されており、これからは地球温暖化への対応にも貢献することを目指しております。私たちは「だいち」を大変誇りに思っております。特にラテンアメリカでは、「だいち」は森林破壊の監視に貢献しており、得られた情報は不法伐採の調査に利用されております。「だいち」がラテンアメリカ諸国における世界銀行プロジェクトでも貴重な貢献をするものと期待しています。今回の覚書調印は、技術的な専門知識とキャパシティ・ビルディングなど科学・技術面でのやりとりを活発化させ、「だいち」による貢献の追い風となるでしょう。

最後に、地上と宇宙空間の両方において世界の環境問題という共通の課題に取り組むためのこの新たなパートナーシップにおいて、この覚書は重要な第一歩となるものと信じております。このパートナーシップが、ポトマック川湖畔に咲き誇る日本の国花である桜のように見事な花を咲かせることを希求してやみません。ご静聴ありがとうございました。

Thank you!

JAXA 堀川康理事